

MCP × GA4 スタートガイド 完全版

モジュール2 つまづきポイント 診断チャート

「動かない」を最短で解決する — 工程別・エラー別トラブルシューティング

23

収録エラーパターン
(セットアップ20+
データ解釈3)

8+1

工程別チャプター構
成
(章立て＝診断の分岐)

1枚

総合診断チャート
(印刷して手元に)

第1版 (v1.0)

HAPPY ANALYTICS / ga4.guide

2026年7月発行 ※ MCP・Claude Desktop の仕様変更時は無償アップデートで対応します

本書は「セットアップの途中で動かなくなった」「設定は終わったのにデータが取れない」ときに、**最短の手順で原因へたどり着くための診断マニュアル**です。頭から読む必要はありません。使い方は次の2通りです。

- **今の工程にいるか分かる場合** → 次ページの「総合診断チャート」で該当工程を探し、エラー番号のページへ飛んでください。章立て（エラー1系～9系）はセットアップの工程順に並んでいます。
- **エラーメッセージが表示されている場合** → 巻末の「エラーメッセージ逆引き一覧」から該当項目を探すのが最速です。

各エラーは **症状 → 原因 → 対処** の3ブロック構成で統一しています。対処は「自分で即座に試せるもの」を先に、「管理者への依頼が必要なもの」を後に記載しています。会社のPC・組織アカウントをお使いの場合は、依頼文面もそのまま使えるように書いてあります。

第1章 GCPプロジェクト・API有効化

- 1-1 プロジェクトが作成できない
- 1-2 Google Analytics Data API が見つからない
- 1-3 API有効化ボタンがグレーアウト

第2章 サービスアカウント・認証キー

- 2-1 サービスアカウントが作成できない
- 2-2 JSONファイルがダウンロードされない
- 2-3 JSONファイルの保存場所が分からない

第3章 GA4の権限付与

- 3-1 「プロパティのアクセス管理」が開けない
- 3-2 「無効なメール」エラー
- 3-3 権限を付与したのにアクセスできない
- 3-4 「Googleアカウントと一致しません」と出る〔2026年4月〜〕

第4章 プロパティIDの取得

- 4-1 測定ID（G-XXXX）を使ってしまう

第5章 Node.js・Claude Desktop導入

- 5-1 Node.jsインストーラーが実行できない

- 5-2 Claude Desktopが起動しない

第6章 設定ファイル（`claude_desktop_config.json`）

- 6-1 設定ファイルが見つからない・開けない〔新規〕
- 6-2 JSON編集後にClaude Desktopが起動しない
- 6-3 GOOGLE_PRIVATE_KEY の改行エラー
- 6-4 コネクタに「google-analytics」が表示されない

第7章 設定の反映

- 7-1 設定変更が反映されない

第8章 接続後のデータ取得

- 8-1 プロンプトを入力しても反応しない
- 8-2 「データが見つかりません」エラー

第9章 数字がおかしいとき〔新規〕

- 9-1 ディメンションと指標の組み合わせエラー
- 9-2 GA4の管理画面と数字が合わない
- 9-3 「先週」「今月」の集計期間がズれる

巻末

- エラーメッセージ逆引き一覧
- 設定ファイル完全サンプル

Q1. セットアップは最後まで完了していますか？

いいえ（途中で詰まっている） → 下の工程マップへ / はい（設定は終わった） → その下の「接続テスト3ステップ」へ

詰まっている工程	こんな状態なら	参照エラー
① GCPプロジェクト作成／API有効化	プロジェクトが作れない・「Google Analytics Data API」が検索に出ない・有効化ボタンが押せない	1-1 / 1-2 / 1-3
② サービスアカウント／JSONキー	サービスアカウントの作成ボタンがない・JSONキーが保存されない・どこに保存したか分からない	2-1 / 2-2 / 2-3
③ GA4側の権限付与	アクセス管理メニューが開けない・「無効なメール」と出る・「Googleアカウントと一致しません」と出る（2026年4月～の仕様変更）・付与したのにエラー	3-1 / 3-2 / 3-4 / 3-3
④ プロパティID取得	「プロパティが見つかりません」と出る（最頻出：G-で始まるIDを使っている）	4-1
⑤ Node.js／Claude Desktop導入	インストーラーが実行できない・Claude Desktop自体が起動しない	5-1 / 5-2
⑥ 設定ファイル編集	設定ファイルの場所が分からない・編集後に起動しなくなった・認証エラー・コネクタが出ない	6-1 / 6-2 / 6-3 / 6-4
⑦ 設定の反映	直したはずなのに挙動が変わらない	7-1
⑧ データ取得	接続はできたがプロンプトに反応しない・「データがありません」と返る	8-1 / 8-2
⑨ 数字の検証	データは返るが、組み合わせエラーが出る・GA4画面と数字が合わない・期間がズレる	9-1 / 9-2 / 9-3

Q2. 接続テスト3ステップ — 「設定は終わったのに動かない」とき

STEP 1 | コネクタ確認

チャット入力欄下の「+」 → 「コネクタ」に google-analytics が表示されているか？

表示されない → エラー6-4へ

表示される → STEP 2へ

STEP 2 | 接続テスト

次の一文だけを送信：

「接続したGA4のプロパティ名を教えてください」

プロパティ名が返る → 接続成功。エラー8-2・9章へ

エラーが返る → STEP 3へ

STEP 3 | エラー文で分岐

Property not found → 4-1

Permission denied → 3-3

Authentication failed → 6-3

その他 → 巻末の逆引き一覧へ

Google Cloud側の入口でつまづくパターンです。個人アカウントでは稀ですが、**会社のGoogleアカウント（組織アカウント）では高頻度で発生します。**

エラー1-1 | プロジェクトが作成できない

症状

- 「新しいプロジェクト」ボタンが押せない
- プロジェクト作成後に一覧に表示されない
- 「権限がありません」とエラー表示される

原因

- Googleアカウントに組織のプロジェクト作成権限がない
- GCPの組織ポリシーで作成が制限されている
- 既存のプロジェクト数が上限に達している（無料枠は12個まで）

対処

まず自分で試す

- ブラウザのシークレットモードで再ログイン（別アカウントのセッション混在を排除）
- 個人など別のGoogleアカウントで試す
- プロジェクト作成画面の左上「組織の選択」で「組織なし」を選ぶ

管理者に依頼する場合（依頼文面例）

- 「GCPで **Project Creator** ロールを付与してください」
- または「プロジェクトの作成を代行してください（用途：GA4のAPI接続）」

エラー1-2 | Google Analytics Data API が見つからない

症状

- APIライブラリの検索で「Google Analytics Data API」と入力しても出てこない
- API一覧に表示されない

原因

- プロジェクトが正しく選択されていない（別プロジェクトを開いている）
- 組織のAPIポリシーでブロックされている

対処

- 画面左上（Google Cloudロゴの右）のプロジェクト名が、**自分が作成したプロジェクト**になっているか確認する
- APIライブラリに直接アクセスする：
<https://console.cloud.google.com/apis/library/analyticsdata.googleapis.com>
- それでも表示されない場合は、組織管理者に「Google Analytics Data API の利用許可」を依頼する

エラー1-3 | API有効化ボタンがグレーアウトして押せない

症状

- 「有効にする」ボタンが押せない・クリックしても反応がない

原因

- API管理の権限が不足している
- 請求先アカウント（Billing Account）が設定されていない

対処

権限の確認

- 「IAMと管理」→「IAM」を開き、自分のアカウントに「**編集者（Editor）**」または「**Service Usage Admin**」があるか確認する

請求先の確認

- 左メニュー「お支払い」で請求先アカウントがリンクされているか確認する
- ない場合は無料トライアルを有効化する（クレジットカード登録が必要。GA4のData API利用だけなら通常は無料枠内に収まります）

ClaudeがGA4にアクセスするための「鍵」を作る工程です。ここで作るJSONファイルは後の第6章で使うため、保存場所を必ず決めてから進めてください。

エラー2-1 | サービスアカウントが作成できない

症状

- ・「+サービスアカウントを作成」ボタンがない・押せない
- ・「権限がありません」エラーが出る

原因

- ・サービスアカウントの作成権限がない
- ・プロジェクトのIAM設定で制限されている

対処

- ・「**Service Account Admin**」ロールが必要。管理者に付与を依頼するか、「編集者（Editor）」ロールを付与してもらう
- ・もしくは管理者にサービスアカウントの作成自体を代行依頼する

権限の確認コマンド（Cloud Shell）

```
gcloud projects get-iam-policy [PROJECT_ID] \
--flatten="bindings[].members" \
--filter="bindings.role:roles/iam.serviceAccountAdmin"
```

エラー2-2 | JSONキーファイルがダウンロードされない

症状

- ・「作成」を押してもファイルが保存されない・ダウンロードフォルダに何も無い

原因

- ・ブラウザのダウンロードブロック設定・ポップアップブロッカーが作動している

対処

Chromeの設定確認

- 設定 → プライバシーとセキュリティ → サイトの設定 → 「追加のコンテンツ設定」 → 「自動ダウンロード」で `cloud.google.com` を許可リストに追加する

代替手段

- サービスアカウントの「キー」タブ → 「鍵を追加」から**新しいキーを再発行**する（一度失敗したキーの再ダウンロードはできないため、新規発行が確実）
- 別ブラウザ（Edge、Firefox）またはシークレットモードで試す

エラー2-3 | JSONファイルをどこに保存したか分からない

症状

- ダウンロードしたはずのJSONファイルが見つからない・ファイル名が分からない

原因

- ダウンロードフォルダから移動した・複数回ダウンロードして混在している

対処

ファイルの探し方

- **Windows** エクスプローラーの検索で「*.json」+更新日時「今日」で絞り込む
- **Mac** Spotlight（Cmd+スペース）またはFinderで「.json」を検索し、「作成日：今日」で並べ替える
- ファイル名は「[プロジェクト名]-[ランダム文字列].json」の形式（例：claude-ga4-abc123def456.json）

今後のために

- 見つからない場合は再発行し、すぐに専用フォルダへ移動する（例：ドキュメント内に「GA4-MCP-Credentials」フォルダを作成）
- **このファイルはGA4データへのアクセス権そのものです。**メールやチャットでの共有、共有フォルダへの保存は避けてください

作成したサービスアカウント（機械用のメールアドレス）に、GA4のデータを読む権限を与える工程です。「閲覧者」ではデータ取得できない点に加え、2026年4月下旬以降はGA4の管理画面からサービスアカウントを追加できなくなりました。画面から追加できない場合は、まずエラー3-4をご覧ください（現在はこちらが標準の手順です）。

エラー3-1 | 「プロパティのアクセス管理」が開けない

症状

- GA4の「管理」に「プロパティのアクセス管理」メニューがない・クリックしても開けない

原因

- あなた自身がGA4プロパティの管理者権限を持っていない（閲覧者・アナリスト権限のみ）

対処

- 「管理」→「プロパティ設定」が開けるか確認する。開けなければ管理者権限がない状態です
- ユーザー追加には「編集者」以上の権限が必要。プロパティの管理者に次の文面で依頼してください：
「サービスアカウントのメールアドレス `xxxx@xxxx.iam.gserviceaccount.com` に、GA4プロパティのアナリスト権限を付与してください」
- 注意（2026年4月下旬～）**：管理者であっても管理画面からのサービスアカウント追加はできなくなっています。依頼する場合は、エラー3-4のAPI手順（OAuth 2.0 Playground）を管理者に共有してください

エラー3-2 | メールアドレス追加で「無効なメール」エラー

症状

- サービスアカウントのメールを貼り付けると「無効」と表示され、追加ボタンが押せない
- ※「このメールアドレスはGoogleアカウントと一致しません」と表示される場合は本項ではなく → エラー3-4へ（2026年4月下旬以降のGoogle側の仕様変更です。コピーし直しても解決しません）

原因

- コピー時に余分なスペース・改行が混入している
- 全角文字が混ざっている・コピー範囲が不完全

対処

正しいコピー手順

- JSONファイルをテキストエディタで開き、"client_email" の行を探す
- ダブルクォートの内側だけをコピーする

```
× "client_email": "xxxxx@xxx.iam.gserviceaccount.com",  
○ xxxxx@xxx.iam.gserviceaccount.com
```

- 一度メモ帳などに貼り付けて、前後にスペース・改行がなく、すべて半角英数字であることを確認してから使う

エラー3-3 | 権限を付与したのに「アクセスできません」

症状

- GA4での権限付与は完了したのに、Claudeでのデータ取得時に「アクセスできません」「Permission denied」と出る

原因

- 権限が「閲覧者」になっている（データ取得にはアナリスト以上が必要）
- 権限反映の待ち時間中（最大5分程度）
- プロパティIDが間違っている

対処

- 「プロパティのアクセス管理」で権限レベルを確認：アナリスト ○ / 編集者 ○ / 閲覧者 ×（データ取得不可）
- 権限付与の直後なら5分待ってから再試行する
- プロパティIDを再確認する：管理 → プロパティの詳細 → 右上の9桁の数値（→ エラー4-1参照）

エラー3-4 | 「このメールアドレスはGoogleアカウントと一致しません」と出て追加できない 2026年4月～

症状

- GA4の「プロパティのアクセス管理」でサービスアカウントのメール（～.iam.gserviceaccount.com）を追加しようとすると「このメールアドレスはGoogleアカウントと一致しません」と表示される
- 管理者権限でログインしていても追加できない・コピーし直しても解決しない

原因

- **2026年4月下旬以降のGoogle側の仕様変更**です。あなたの操作ミスではありません。GA4の管理画面からサービスアカウントを直接追加することができなくなりました（Search Consoleなど他のGoogleサービスでも同様の制限が広がっています）。当面は「画面からは追加できない」前提での運用が必要です

対処

Google Analytics Admin API 経由で登録する（OAuth 2.0 Playground ・ 5ステップ）

- ① <https://developers.google.com/oauthplayground/> を開き、左の入力欄（Input your own scopes）に次のスコープを入力して「Authorize APIs」をクリック：
<https://www.googleapis.com/auth/analytics.manage.users>
- ② **GA4プロパティの管理者権限を持つGoogleアカウント**で認可し、「Exchange authorization code for tokens」を実行してアクセストークンを取得する
- ③ HTTPメソッドを「**POST**」に変更し、Request URI に次を入力（{プロパティID}は9桁のプロパティIDに置き換え）：
<https://analyticsadmin.googleapis.com/v1alpha/properties/{プロパティID}/accessBindings>
- ④ 「Enter Request Body」を押し、次のJSONを入力（メールはサービスアカウントのものに置き換え）：

```
{
  "user": "xxx@xxx.iam.gserviceaccount.com",
  "roles": ["predefinedRoles/analyst"]
}
```

- ⑤ 「Send the request」をクリックし、レスポンスが **HTTP/1.1 200 OK** なら成功。GA4管理画面の「プロパティのアクセス管理」に表示され、以後の役割変更は画面から可能です

つまずきポイント

- URIは必ず **v1alpha** を使う（**v1beta には accessBindings がなく 404**になります）
- 404が返る場合はプロパティIDの間違いも疑う（→ エラー4-1）／403は認可したアカウントの管理者権限不足（→ エラー3-1）
- 作業後は Playground の「サードパーティのアプリとサービス」からリフレッシュトークンのアクセスを削除しておく安全です

エラー4-1 | 測定ID (G-XXXX) を使ってしまう【最頻出】

症状

- 設定完了後に「プロパティが見つかりません」「Property not found」エラーが出る

原因

- 本ガイドで最も多い間違い：測定IDとプロパティIDの混同。名前が似ていますが別物です

対処

正しいプロパティIDの形式

- × G-ABC123XYZ （測定ID — ウェブサイトのタグ用）
- × UA-12345678-1 （旧ユニバーサルアナリティクスのID）
- 123456789 （9桁の数値のみ — これがプロパティID）

正しい取得場所

- GA4の「管理」→「プロパティ」列の「**プロパティの詳細**」→ 画面右上の「**プロパティID**」をコピー（「測定ID」ではありません）

PC側の環境構築です。**会社支給PC特有の制限**（管理者権限・セキュリティソフト）が原因の大半を占めます。

エラー5-1 | Node.jsインストーラーが実行できない

症状

- ・インストーラーをダブルクリックしても何も起こらない・「管理者権限が必要です」エラー

原因

- ・標準ユーザー権限ではインストールできない・会社PCでインストール制限がかかっている

対処

- ・ **Windows** msiファイルを右クリック → 「**管理者として実行**」 → UACダイアログで「はい」
- ・ **Mac** pkgインストーラー実行時に管理者パスワードを入力。「開発元を確認できません」と出た場合は、システム設定 → プライバシーとセキュリティ → 「このまま開く」
- ・ 会社PCの場合はIT部門にインストール申請する（申請理由の書き方：「Google公式APIとの連携ツール実行環境として、Node.js LTS版が必要」）

インストール確認

```
> node --version  
v22.x.x ← バージョン番号が表示されればOK
```

エラー5-2 | Claude Desktopが起動しない

症状

- ・インストール後、アイコンをクリックしても起動しない・「アプリケーションエラー」と表示される

原因

- ・セキュリティソフトによるブロック（最も多い）
- ・OSのセキュリティ機能による制限・OSバージョンが古い

対処

Windows Defenderの除外設定

- 設定 → プライバシーとセキュリティ → Windowsセキュリティ → ウイルスと脅威の防止 → 設定の管理 → 除外の追加（フォルダー）：
C:\Users\[ユーザー名]\AppData\Local\AnthropicClaude
- ノートン・ウイルスバスター等の場合は、アプリケーション制御から Claude.exe を許可する
- 動作確認：タスクマネージャー（Ctrl+Shift+Esc）で「Claude」プロセスの有無を確認

Mac の場合

- 初回起動で警告が出たら：システム設定 → プライバシーとセキュリティ → 「このまま開く」
- 起動確認はアクティビティモニタ（アプリケーション → ユーティリティ）で「Claude」を検索

Windows 上級編：インストール自体が失敗を繰り返す場合

- Windowsのコンポーネントストア破損が原因のことがあります。管理者としてコマンドプロンプトを開き、次を実行してからインストールし直すと解消するケースがあります（筆者の実体験）：

```
DISM /Online /Cleanup-Image /RestoreHealth  
sfc /scannow
```

セットアップの山場です。「動かない」原因の過半はこの章のどれかに該当します。とくに6-2（JSON構文）と6-3（改行コード）は必読です。なお、現在のClaude Desktopには「設定→拡張機能」からのワンクリック導入方式もありますが、本ガイドのGA4接続は設定ファイル（`claude_desktop_config.json`）を直接編集する方式で進めます。表示・確認する画面が方式ごとに異なる点に注意してください（→エラー6-4）。

エラー6-1 | 設定ファイルが見つからない・開けない 新規

症状

- `claude_desktop_config.json` がどこにあるか分からない・フォルダを開いてもファイルがない

原因

- 設定ファイルは隠しフォルダ内にあり、一度も開発者向け設定を開いていない場合はファイル自体が未作成のことがある

対処

確実な開き方（推奨）

- Claude Desktopの**設定** → **開発者（デベロッパー）** → **設定を編集**から開く。この操作でファイルが存在しない場合は自動作成されます

直接パスで開く場合

- **Windows** `%APPDATA%\Claude\claude_desktop_config.json`（エクスプローラーのアドレスバーに貼り付け）
- **Mac** `~/Library/Application Support/Claude/claude_desktop_config.json`（Finderで `Cmd+Shift+G` → 貼り付け）

エラー6-2 | JSON編集後にClaude Desktopが起動しない

症状

- 設定ファイルを保存した後、Claude Desktopが起動しなくなった・起動しても即座に落ちる

原因

- **最頻出：JSONの構文エラー**（カンマ・括弧・クォートのミス）
- 全角文字の混入（日本語入力のまま編集した場合の全角スペース・全角クォート）

対処

構文チェック

- <https://jsonlint.com/> を開き、設定ファイルの内容を貼り付けて「Validate JSON」→ エラー箇所が行番号つきで表示されます

よくある間違い3パターン

- × `{"mcpServers": {...},}` ← 最後の余分なカンマ
- `{"mcpServers": {...}}`
- × `'GOOGLE_CLIENT_EMAIL'` ← シングルクォート
- `"GOOGLE_CLIENT_EMAIL"` ← ダブルクォート
- × `"env": { GOOGLE_CLIENT_EMAIL: "..."}` ← キーにクォートなし
- `"env": { "GOOGLE_CLIENT_EMAIL": "..."}`

復旧方法

- バックアップがない場合は、巻末の「設定ファイル完全サンプル」を丸ごとコピーして貼り直し、自分の値に1箇所ずつ置き換える。置き換えるたびにJSONLintで検証すると、どの置換でミスしたかを特定できます

エラー6-3 | GOOGLE_PRIVATE_KEYの改行エラー

症状

- 設定後に「認証エラー」「Invalid private key」「Authentication failed」と表示され接続できない

原因

- Private Key内の `\n`（改行コード）が正しく扱われていない
- エディタの自動変換で実際の改行になってしまっている・二重エスケープの過不足

対処

正しい形式

▼ JSONキーファイル側（ダウンロードしたままの形）

```
"private_key": "-----BEGIN PRIVATE KEY-----\nMIIEvQIBA...(中略)...=\n-----END PRIVATE KEY-----\n"
```

▼ claude_desktop_config.json 側（\nを \\n に置換した形）

```
"GOOGLE_PRIVATE_KEY": "-----BEGIN PRIVATE KEY-----\\nMIIEvQIBA...\\n-----END PRIVATE KEY-----\\n"
```

修正手順

- JSONキーファイルから private_key の値をコピーする
- テキストエディタで \n を \\n に全置換する（VSCodeなら Ctrl+H／Macは Cmd+Option+F）
- claude_desktop_config.json に貼り付け、**実際の改行が1つも入っていない**（値が1行になっている）ことを確認する

確認のポイント

- ○ エディタ上で「\n」（環境により「¥n」表示）という**2文字**が見えている
- ✕ 実際に行が折り返されて改行されている

エラー6-4 | コネクタに「google-analytics」が表示されない

症状

- 設定を保存しても、チャット入力欄下の「+」→「コネクタ」に google-analytics が出てこない
- 「設定」→「開発者」の一覧にも表示されない、または「failed」と表示される

※「設定」→「**拡張機能**」の画面を見ていませんか？ 拡張機能はワンクリック導入方式（.mcpb）専用の一覧です。本書の方法（設定ファイル直接編集）で入れたサーバーは「**開発者**」側に表示されます

原因

- JSONの構文エラー（→ エラー6-2）
- Node.jsがインストールされていない・npxコマンドが実行できない環境

対処

設定ファイルの確認ポイント

```
{
  "mcpServers": {
    "google-analytics": { ← この名前がコネクタ一覧に表示される
      "command": "npx",
      "args": ["-y", "mcp-server-google-analytics"],
      ...
    }
  }
}
```

- ターミナル／コマンドプロンプトで `node --version` が通るか確認（通らなければ → エラー5-1）

表示場所の確認（2つある）

- ① チャット入力欄下の「+」→「コネクタ」：接続済みサーバーと使えるツールの一覧
- ② 「設定」→「開発者」：サーバーごとの接続ステータス。「**running**」なら正常、「failed」ならログでエラー内容を確認できます（JSON構文か認証エラーかの切り分けに最適）

強制再読み込み

- Claude Desktopを**完全終了**する（→ 手順はエラー7-1）→ 設定ファイルを開き直して保存（Ctrl+S／Cmd+S）→ 再起動

エラー7-1 | 設定変更が反映されない【超頻出】

症状

- `claude_desktop_config.json` を修正・保存したのに挙動が変わらない・古い設定のまま動く

原因

- **超頻出：Claude Desktopのプロセスが完全終了していない。** ウィンドウを閉じてバックグラウンドで動き続けており、設定は起動時にしか読み込まれません

対処

Windows 完全終了の手順

- `Ctrl+Shift+Esc` でタスクマネージャーを起動 → 「プロセス」タブで「Claude」を探す → 右クリック → 「タスクの終了」（複数ある場合はすべて終了）
- 一覧から「Claude」が消えたことを確認してから再起動する

Mac 完全終了の手順

- Claudeを前面にして `Cmd+Q`（ウィンドウの×ボタンでは終了しません）
- メニューバー右上にClaudeアイコンが残っている場合は、アイコンから「Quit」を選択
- 確認はアクティビティモニタで「Claude」を検索し、プロセスがないこと

任意：自動起動の停止

- **Windows** タスクマネージャー → 「スタートアップ」タブ → Claudeを「無効」に設定すると、この問題の再発を減らせます

エラー8-1 | プロンプトを入力しても反応しない

症状

- 「接続したGA4の～」と入力してもデータが取得されない・「データにアクセスできません」と返答される

原因

- コネクタ未設定・GA4の権限不足・プロパティIDの間違いのいずれか

対処

- 冒頭の総合診断チャート「**接続テスト3ステップ**」(p.3)をそのまま実行してください。STEP1(コネクタ確認)→STEP2(「接続したGA4のプロパティ名を教えて」)→STEP3(エラー文で4-1/3-3/6-3に分岐)の順で、原因を1つに絞り込めます

エラー8-2 | 「データが見つかりません」と返ってくる

症状

- 接続自体は成功しているのに「データがありません」・空の結果が返る

原因

- データが存在しない期間を指定している(当日データは反映遅延がある)
- GA4の計測自体が動いていない
- サービスアカウントの権限が「閲覧者」のまま(→エラー3-3)

対処

GA4側でデータの存在を確認

- GA4の「レポート」→「リアルタイム」でアクティブユーザーがいるか確認する。いなければ自分でサイトにアクセスして計測が動いているか確かめる

期間指定を変える

- ✕ 「今日のデータを見せて」(反映遅延で空になりがち)
- ○ 「**昨日**のデータを見せて」「**先月**のデータを見せて」

権限の再確認

- 「プロパティのアクセス管理」でサービスアカウントが「アナリスト」以上になっているか確認する

エラーは出ないのに「数字が変」「GA4画面と合わない」というケースです。設定ミスではなくGA4/APIの仕様が原因のことが多く、仕組みを知っていれば慌てずに済みます。

エラー9-1 | ディメンションと指標の組み合わせエラーが出る

新規

症状

- 複雑な集計を頼むと「この組み合わせでは取得できません」という趣旨のエラーが返る・一部の指標だけ空になる

原因

- GA4のData APIには**組み合わせ不可のディメンション×指標**が存在します（例：ユーザー単位の指標とセッション単位のディメンションの一部併用など）。これは設定ミスではなくAPIの仕様です

対処

- 依頼を分割する：1回のプロンプトに詰め込まず、「まずチャンネル別セッション数」「次にチャンネル別CV数」のように**2回に分けて**依頼し、Claudeに結合してもらう
- Claudeに仕様を確認させる：「**このディメンションと組み合わせ可能な指標を確認してから取得して**」と一言添えると、Claude側が互換性をチェックしてから実行します

エラー9-2 | GA4の管理画面と数字が合わない

新規

症状

- Claudeが返した数字とGA4のレポート画面の数字が微妙に（ときに大きく）ズレる

原因

- **データのしきい値**：Googleシグナル有効時、少数ユーザーの行が非表示になり画面側が小さく出ることがある
- **集計タイミングの差**：直近24～48時間のデータは確定前で、取得時刻により変動する
- **比較対象の違い**：画面は「標準レポート」、APIは「探索」相当の集計に近く、指標の定義（合計ユーザー／アクティブユーザーなど）が揃っていないことがある

対処

- 比較するときは**確定済みの期間（3日以上前～先月）**で突き合わせる
- 指標名を明示する：「アクティブユーザー数を」「セッション数を」と、GA4画面で見ている指標名をそのままプロンプトに書く
- 数%のズレは仕様上の誤差として扱ってよい、という判断基準をチーム内で共有しておく（分析の目的は数字を1桁まで合わせるのではなく、意思決定に足る精度を確保することです）

エラー9-3 | 「先週」「今月」の集計期間がズレる 新規

症状

- 「先週のレポート」を頼んだのに想定と違う7日間が集計されている・月初に「今月」を頼むとほぼ空になる

原因

- 「先週」の解釈（月曜始まりか日曜始まりか、直近7日間か）が曖昧なまま実行されている
- GA4プロパティのタイムゾーンとあなたの意図がズレている

対処

- 定例レポートでは日付を明示する：「**2026年6月1日～6月30日の期間で**」と書けば解釈のブレはゼロになります
- 相対表現を使うなら定義ごと伝える：「先週（月曜始まりの直前1週間）の」
- GA4の「管理」→「プロパティの詳細」でレポートのタイムゾーンを一度確認しておく（海外拠点設定のまま、というケースが実際にあります）

画面に表示されたメッセージ・状態から直接該当ページへ飛ぶための索引です。

表示されるメッセージ・状態	参照	原因の要約
Property not found / プロパティが見つかりません	エラー4-1	測定ID (G-) とプロパティID (9桁数値) の混同
Permission denied / アクセスできません	エラー3-3	権限が「閲覧者」・反映待ち・ID間違い
Authentication failed / Invalid private key	エラー6-3	Private Keyの改行コード (\n) の扱いミス
「無効なメール」 (GA4のユーザー追加時)	エラー3-2	コピー時のスペース・改行・全角の混入
このメールアドレスはGoogleアカウントと一致しません	エラー3-4	2026年4月～の仕様変更。API経由での登録が必要
設定保存後にClaude Desktopが起動しない	エラー6-2	JSON構文エラー (カンマ・クォート)
コネクター一覧に google-analytics が出ない	エラー6-4	JSON構文エラーまたはNode.js未導入
修正したのに挙動が変わらない	エラー7-1	プロセスが完全終了していない
データがありません (接続は成功している)	エラー8-2	当日データの遅延・計測停止・閲覧者権限
この組み合わせでは取得できません	エラー9-1	ディメンション×指標のAPI仕様上の制約
GA4画面と数字が合わない	エラー9-2	しきい値・集計タイミング・指標定義の差
「権限がありません」 (GCP画面上)	エラー1-1 / 2-1	組織アカウントのロール不足
「有効にする」ボタンが押せない	エラー1-3	API管理権限または請求先アカウント未設定
インストーラーが実行できない	エラー5-1	管理者権限・会社PCの制限
Claude Desktopが起動しない (インストール直後)	エラー5-2	セキュリティソフトのブロック

エラー6-2の復旧時は、以下を丸ごと貼り付けてから、【】の3箇所だけを自分の値に置き換えてください。1箇所置き換えるごとにJSONLintで検証すると安全です。

```
{
  "mcpServers": {
    "google-analytics": {
      "command": "npx",
      "args": ["-y", "mcp-server-google-analytics"],
      "env": {
        "GOOGLE_CLIENT_EMAIL": "【JSONキーのclient_emailの値】",
        "GOOGLE_PRIVATE_KEY": "【JSONキーのprivate_keyの値（\nを\\nに置換したもの）】",
        "GA_PROPERTY_ID": "【9桁のプロパティID】"
      }
    }
  }
}
```

巻末3

更新履歴

版	発行日	主な内容
v1.1	2026年7月	エラー6-1のメニュー名称を実機表記「設定を編集」に統一（モジュール1と整合）。
v1.0	2026年7月	初版発行。2026年4月下旬のGA4権限付与の仕様変更（エラー3-4）、およびClaude Desktop現行UI（コネクタ確認手順・開発者設定・拡張機能方式との違い）を反映済み。

MCP・Claude Desktop・GA4側の仕様変更を確認した際は、購入者の皆さまに無償の更新版を配布します。本書の記載と実際の画面が異なる場合は、お手元の版が最新かをまずご確認ください。

本書は「MCP×GA4 スタートガイド 完全版」のモジュール2です。環境構築の手順そのものはモジュール1、導入後に使う分析プロンプトはモジュール3をご覧ください。MCP・Claude Desktopの仕様変更により本書の記載と実際の画面が異なる場合は、購入者向けの無償アップデートで対応します。

© HAPPY ANALYTICS / ga4.guide